

オンラインシンポジウム 「自治体のおでかけ政策の統合を目指して～交通と福祉の垣根を越える！」

豊かな生活に欠かせない「おでかけ」のための交通手段は、交通部門(公共交通)と福祉部門(福祉有償運送、自家用輸送、介護タクシーなど)が担っていますが、この両者の連携は不十分な状態です。これからますます増加する福祉的な移動ニーズに応え、地域共生社会を実現するためにも、交通部門と福祉部門との垣根を越えた「おでかけを考える体制と施策検討」が重要です。そのために、縦割りを打破し、より地域住民に寄り添ったおでかけ施策が展開できることを目指すべきです。

そこで私たちは「交通と福祉の融合に向けた検討会」を立ち上げ、2018・19年に「交通と福祉の連携シンポ」を行いました。これらを踏まえ今回は、自治体の「おでかけ政策」の統合に向けた取組の紹介ならびに討論を行い、交通部門と福祉部門の垣根を越えるための突破口を探ります。

下記フォームにて参加登録をお願いします。視聴用のURLは、申し込み頂いたアドレスへ送付いたします。

<https://forms.gle/W9qNxzg9FYoypbsF6>



【開催概要】

日時 : 2021年12月22日(水) 13:00~16:00
開催方式 : インターネット配信[入退場自由、12:45~入場可]
参加費 : 無料

【プログラム】

第1部: 基調講演(30分)

「自治体の『おでかけ』政策確立はこうすればできる」

加藤博和(名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター教授)

第2部: 政策立案と現場&融合事例自治体の紹介(80分(休憩10分含む))

国土交通行政の立場から: 酒井達朗氏(山形県みらい企画創造部企画調整課長<前:総合交通政策課長、元・国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課>)

厚生労働行政の立場から: 國信綾希氏(長久手市地域共生推進監<前・厚生労働省社会・援護局地域福祉課>)

休憩

地域公共交通会議と福祉有償運送運営協議会の共同開催: 高山市役所

住民の移動手段確保のための「交通と福祉」連携の現状: 日進市役所

第3部: おでかけ政策の統合を目指した討論(70分) 司会: 樋口恵一(大同大学建築学科土木・環境専攻 准教授)

討論者: 第1部・第2部講演者

石井信氏(国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課長)

石川優氏(中川タクシー(株)・朝日タクシー(株)代表取締役社長)

猪田有弥氏(にしあわくらモビリティプロジェクト代表)

大石信太郎氏(国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課係長)

遠山哲夫(NPO 法人移動ネットあいち理事長) <五十音順>

主催: 交通と福祉の融合に向けた検討会

【幹事】加藤博和(名古屋大学)、遠山哲夫(NPO 法人移動ネットあいち)、樋口恵一(大同大学)

後援: 国土交通省中部運輸局、南医療生活協同組合、名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター、大同大学

問い合わせ先: 交通と福祉の融合に向けた検討会事務局 樋口恵一 kotsufukushi@gmail.com